



二階東座敷床の間
(黒柿、鉄刀木、花梨)



樺のらせん階段



埋れ木使用のガラス戸



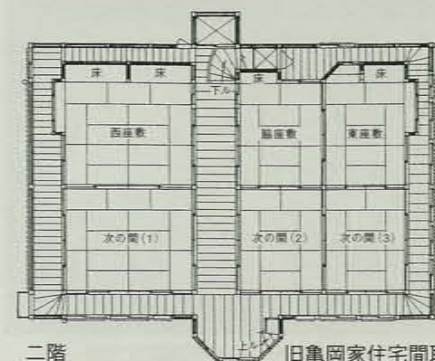
埋れ木の床柱と床框



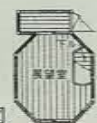
居間(樺の間)



玄関のアーチ



・建築面積
415.5㎡(125坪)
・延床面積
646.9㎡(195坪)



二階

旧亀岡家住宅間取り図

三階



ご案内

伊達市保原歴史文化資料館は郷土に関する様々な歴史資料や文化資料の収集・保存・整理に努めています。また、皆さまのご要望に沿った展示や各種講座の開催に努めています。郷土の学習に必要な参考図書や関係資料を備えてご来館をお待ちしています。併設している旧亀岡家住宅は建築技術の宝庫です。ぜひご案内させていただきたいと思ひます。

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分)

休館日 火曜日(火曜日が祝日のときはその翌日)
年末年始(12月28日～1月4日)

観覧料

	個人	団体 (20人以上)
大人	210円	160円
小中学生	100円	80円

☆企画展、特別展の観覧料は別に定めます。

施設

建築年	平成7年	鉄筋コンクリート造り
建築面積	463.01㎡	延床面積 461.51㎡
展示室1	67.36㎡	展示室2 40.28㎡
郷土資料閲覧室	38.35㎡	収蔵庫 102.21㎡
研修室	39.48㎡	事務室 33.74㎡

交通

- ・JR福島駅から阿武隈急行電車で20分、大泉駅下車、徒歩7分
- ・東北自動車道福島飯坂ICより車で25分、または国見ICより車で25分



伊達市保原歴史文化資料館

〒960-0634 福島県伊達市保原町大泉字宮脇265
伊達市保原総合公園内

TEL/FAX 024-575-1615



伊達市保原歴史文化資料館



明治の擬洋風建築 旧亀岡家住宅

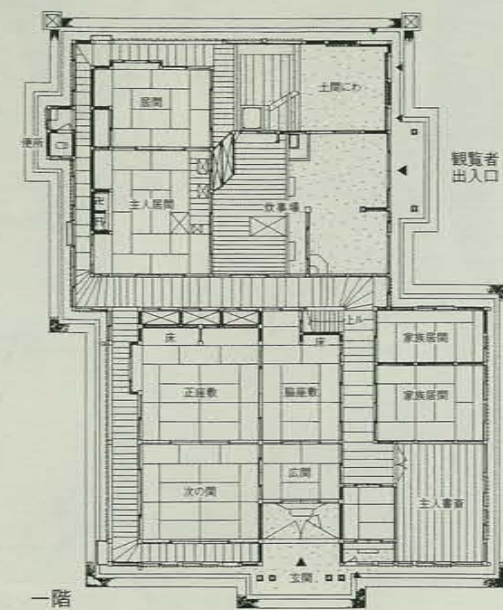
旧亀岡家住宅は明治30年ころ伊達郡伊達崎村(現在の桑折町大字伊達崎)に亀岡正元によって建てられた。棟梁は飯坂の小笠原国太郎であった。正元は、蚕種製造など農業にたずさわる一方、郡会議員などを務め、開明の人であったと伝えられる。

この建物は、平屋部分の居間棟と二階建て部分の客間棟からなる。外観はモダンな洋風、内部は純和風の書院造りとなっている(洋室は1室のみ)。特に、八角形の展望室、風見鶏、とんがり屋根(ランタン)など、屋根まわりや玄関まわりに洋風が強く感じられるが、ガラス窓とガラス戸を多用し、障子戸は1か所だけしかないなど、ちぐはぐな面が多々ある。ランタンや煙突などは飾りだけで、あまり機能していない。旧亀岡家住宅は、農村地域に洋風建築が取り入れられた最初期の建築であり、そのための後遺症のようなものであろう。当時の東北地方では、洋風建築は県庁や郡役所など官舎に多く採用されていたが、民間の住宅ではまだ稀であった。

しかしながら、旧亀岡家住宅の建築材には見るべきものが多い。丸森産樺・秋田産杉を中心に、紫檀(したん)・鉄刀木(たがやさん)・黒柿・阿武隈川の埋れ木などの材は見事なもので、床の間の材等に使用されている。「樺の間」や「杉の間」の折上げ格天井も素晴らしい。居間の書院の亀甲文様の棧、床の間の亀や鶴の彫刻、階段の柿の木の彫刻、居間の欄間の松竹梅の透かし彫り等にも注目したい。

旧亀岡家住宅は、正元の子孫の方から旧保原町に寄贈され、平成7年、現在地に移築復原された。平成8年には福島県指定文化財となった。

福島市飯坂温泉の花水館「奥の間」、なかむらや旅館「新館」も小笠原国太郎の手による建物で、平成9年、国の登録文化財となっている。やはり当時の最高の建築部材を使用したと言われている。



一階

収藏品の中から



縄文土器 (保原 前田遺跡)



大刀柄飾 (保原 愛宕山古墳)
伊達市指定文化財



伊達政宗書状 江戸時代 寛永5年(1628)



糸車 明治時代初期 管巻きや糸のよりかけに用いた。



腕用ポンプ 明治31年(1898)



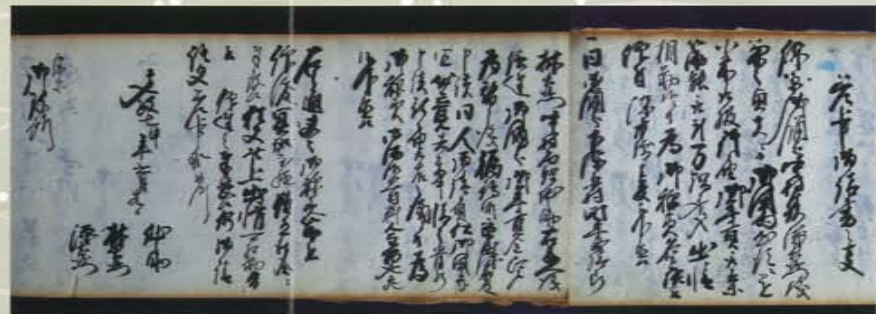
高札 江戸時代 明和7年(1770)



つくし 江戸時代後期
真綿から糸を紡ぐのに用いた。



句集『追善小島菊』 江戸時代 明和7年



文政7年(1824) 保原中村組頭ほか御褒美請書 (「保原会所記録」)



日下部鳴鶴の書 明治30年(1897)



寄託品

白雲館扁額 寛政3年(1791)
白雲館は詩人・儒者であった熊坂朝陵の屋敷名で、扁額は江戸昌平坂聖堂祭酒林大学頭信敬の筆になる。



熊坂適山「蘭亭曲水図」 嘉永6年(1853) 福島県指定文化財
適山は保原生まれの松前藩御抱え絵師。



松前藩医熊坂蘭斎使用地球儀
江戸時代後期



伝相馬藩姫君使用鏡台
江戸時代後期



下保原村絵図 江戸時代後期



熊坂適山「山水図」秋山雨後
江戸時代後期



明治18年7月準市街道路拝借願
(地理院同進達達願 保原村外十四ヶ村戸長役場)



米倉兌「帯織」(おくの細道墨彩画シリーズ、昭和59年)



ジャケット (ホームスパン)
昭和20年代



羽釜と釜台
昭和20年代



仕事着 大正時代



えちこ 昭和30年代



佐藤家蚕種簿標本 江戸時代中期～ 伊達市指定文化財